

江中

今年度もお世話になりました。

Well・Being をめざして

校長 大地本央仁

令和7年度 江津中学校 学校評価（1・2学期）のご報告

～生徒の健やかな成長と、学校・家庭の連携に向けて～

早いもので、令和7年度も終わりを迎えました。保護者の皆様には、本校の教育活動に、多大なるご理解とご協力を賜り大変ありがとうございました。最終号は、保護者の皆様にもご協力いただいた学校評価をAIで分析したものを報告します。

令和7年度 学校評価のご報告 ～進化する江津中学校～

教員自身の評価：「学校教育目標の達成状況」が大きく向上

5人 → 12人

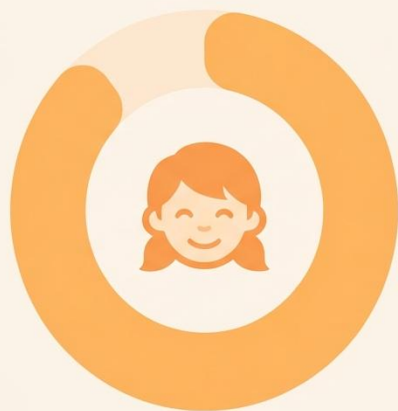
1学期から2学期にかけて、学校の取り組みが「よい（達成されている）」と自己評価した教員数が2倍以上に増加しました。

- ・学校全体で目標に向けた取り組みが着実に進んでいます。
- ・本日は、生徒たちの成長の様子と、今後の連携についてご報告します。

NotebookLM

スライド 1：この報告は、本校が掲げる「学校教育目標」の達成状況を、生徒と教職員のアンケート結果から振り返るものです。教職員の自己評価では、2学期に「目標の具現化」において「よい」とする回答が1学期の5件から12件へと大幅に増加しました。これは、学校全体で目指すべき姿を全職員で共有し、教育活動が着実に実を結んでいる証しです。

学校生活の満足度：安心できる居場所



全学年の
全学年 **9割**
が「楽しい」と回答

アンケート結果：「学校での生活は楽しい」という質問に対する肯定的な回答

- ・1学期・2学期ともに、非常に高い水準を維持しています。
- ・生徒たちにとって、学校が「安心できる居場所」となっています。

NotebookLM

スライド 2：生徒たちの学びの土台となる「学校満足度」は非常に高い水準にあります。アンケートで「学校での生活は楽しい」と答えた生徒（「思う」「やや思う」の合計）は、1年生で53名/56名（約95%）、2年生で56名/58名（約97%）、3年生で56名/57名（約98%）に達しています。生徒たちが安心して登校し、生活を送れていることが分かります。

スライド 3:「先生は自分の良いところを認めてくれる」「困った時に相談にのってくれる」と感じている生徒が全学年で多くなっています。例えば3年生では、57名中56名の生徒が「自分の良いところを認めてくれている」と回答しており、先生に対する確かな信頼が、学校生活の安心感につながっています。

先生との信頼関係：一人ひとりに寄り添うサポート



「学校や先生は、自分のよいところを認めてくれている」

すべての学年で、継続して高い肯定的な回答を得ています。



「困ったことや悩みの相談にのってくれる」

トラブルや悩みに対する素早い対応が行き届いています。

「一人ひとりの良さを引き出し、いつでも相談できる関係性」が、楽しい学校生活を支えています。

© NotebookLM

デジタル機器（タブレット等）を活用した分かりやすい授業

デジタル機器の積極的な活用



全学年を通して、先生によるタブレット等を用いた授業が定着しています。

「分かりやすさ」の向上



「先生の説明や進め方がわかりやすい」という生徒の声が、多数寄せられています。

・ 視覚的に分かりやすい資料やデータを用いることで、生徒の理解度が深まっています。

© NotebookLM

スライド 4:「分かりやすい授業」の実現に向け、タブレット端末などの活用が進んでいます。3年生のアンケートでは、2学期に「先生はICTを活用している」と回答した生徒は57名全員（100%）に達しました。教員の8割以上も意欲的に取り組んでおり、視覚的に分かりやすく、興味を引き出す授業づくりが浸透しています。

対話的な学び：話し合いで深まる思考力



友だちとの対話を通じて、自分の考えを「深める」「広げる」

- ・ 授業の中で、話し合いの活動が活発に行われています。
- ・ 特に3年生では、1学期から2学期にかけて「考えを深めようとしている」生徒の割合が安定して高く、成長のリード役となっています。
- ・ デジタル機器で意見を共有し、自分の言葉で伝える力が育っています。

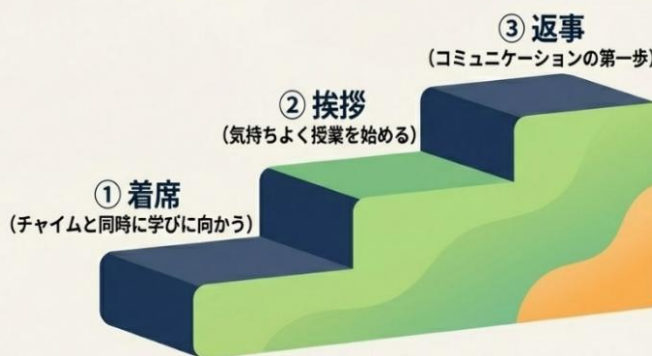
© NotebookLM

スライド 5:自分の考えを深めるため、友達との対話を重視しています。3年生の2学期には「授業で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしようとしている」と強く実感する生徒（「思う」）が35名に増えました。「主体的で対話的な学び」が、全教科を通じて着実に育まれています。

スライド 6：学習を支える基本姿勢として「着席・挨拶・返事」の徹底を図っています。教職員の評価では、この学習規律の定着が1学期の7件から2学期には9件の「よい」へと向上しました。生徒たちも、1年生の9割以上がこれらを意識して授業に臨んでおり、学びを大切にす雰囲気教室に根付いています。

学習規律の定着：すべての学びの土台として

江津中学校の「3つの約束」



教員評価
学習規律の徹底
7人 → 9人
(1学期から2学期へ向上)

当たり前のことを徹底する姿勢が、落ち着いた学習環境を生み出しています。

© NotebookLM

自己肯定感の育成：自分自身の良さを認める力



「自分には、 よいところがある」 と思える力の醸成

- アンケート結果からも、半数以上の生徒が自分自身の良さをしっかりと認識しています。
- 学校生活での「できた!」「認められた!」という小さな成功体験の積み重ねが、生徒の自信に繋がっています。
- 今後も、生徒一人ひとりの「持ち味」を大切に育てていきます。

© NotebookLM

スライド 7：今後の重点課題の一つが「自己肯定感」です。他の項目に比べ「自分にはよいところがある」と自信を持って答えられる生徒は、全学年でまだ伸びしろがあります。生徒が自分の可能性を信じられるよう、学校では「小さな頑張りを見逃さず認める指導」を強化します。ご家庭でもぜひ、お子様の良い点を話題にさせていただければ幸いです。

家庭学習の習慣づくり：日々の積み重ねに向けて



3年生の素晴らしい成長!

「毎日、家庭学習に取り組んでいる」
割合が、2学期に大きく増加

【ご家庭へのお願い：学校と家庭の連携】

- 1・2年生の段階から、少しずつ「毎日机に向かう習慣」を身につけることが大切です。
- 学習の「環境を整える」ことや、「今日学んだこと」を夕食時に聞いてみるなど、学校とご家庭が連携して学習習慣を育てていきましょう。

© NotebookLM

スライド 8：授業への高い意欲を確かな学力につなげるため、家庭学習の習慣化が重要です。2年生では「毎日家庭学習に取り組んでいる」と答えた生徒（「思う」）は、2学期には7名に留まっています。*「短時間でも決まった時間に机に向かう」*といった、無理のない範囲での習慣づくりと環境の整備について、引き続き温かいサポートをお願いいたします。

デジタル機器の利用ルール：健康な生活リズムのために



ゲーム・動画・SNSとの上手な付き合い方

- ・多くの生徒がご家庭でのルールを守って利用しています。
- ・一方で、中学校生活に慣れてくる時期（特に2学期）には、ルールの見直しが必要な兆しも見られます。

デジタル機器は便利ですが、使いすぎは心身の健康や生活リズムに影響を与えます。

【ご家庭へのお願い】
お子様が健康に過ごせるよう、ご家庭での「利用時間」や「使う場所」のルールを、ぜひ定期的にお子様と一緒に話し合ってみてください。

NotebookLM

スライド 9：家庭でのスマートフォンや SNS、ゲームとの付き合い方についても振り返りました。2年生では、家でのルールが「あまり守れていない」「全く守れていない」と感じている生徒が、合計で 25 名存在します。心身の健康と生活リズムを守るため、適切な利用ルールについて、ぜひ改めてお子様と話し合ってみてください。

学校と家庭のパートナーシップ：共に育む未来

学校とご家庭は、子どもを支える両輪です。



- ・【学校の役割】安心できる居場所づくりと、分かりやすく対話的な学びの提供をさらに推し進めます。
- ・【ご家庭との連携】家庭学習の習慣づくりや、健康的な生活リズムの維持に向けて、前向きな情報交換を続けていきたいと考えています。
- ・本日は貴重なアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。引き続き、江津中学校の教育活動へのご理解・ご支援をお願い申し上げます。

NotebookLM

スライド 10：今年度の歩みを通じて、本校の生徒たちは良好な人間関係の中で意欲的に学んでいます。この「学校での充実感」を、家庭での安定した生活習慣へと繋げていくこと。これからも学校と家庭が手を取り合い、一人ひとりの健やかな成長を支えてまいりましょう。

改めまして、本年度も大変お世話になりました。来年度も学校教育目標の達成をめざし、教職員一同尽力してまいります。保護者も皆様におかれましては、本年度同様、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。